

地域のため企業が貢献

今年も車いす3台

釧路 宮坂建設が市に寄贈

宮坂建設工業（宮坂寿文社長）は22日、釧路市に車いす3台（約14万円相当）を寄贈した。同社の社会貢献活動の一つで9年目。車いすは市立高等看護学院で



授業などに活用する。

同社は、本社のある帯広市と、支店のある札幌、釧路の両市に毎年、車いすを3台ずつ寄贈している。車いすは、鉄くずなどの産業廃棄物を重量に応じてポイントに換算し、物品に換えられる仕組みを活用した。

釧路市役所を訪れた同社の有川進副社長は「ささやかですが、毎年続けることに意義があると思います。地域で役立ててください」と、蝦名大也市長に目録を手渡した。

（安藤徹）

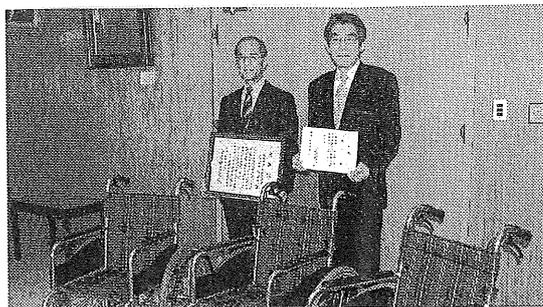
車いすを寄贈した宮坂建設の有川進副社長（左）と蝦名大也市長

社会福祉の充実に

車いす3台寄贈

宮坂建設工業

宮坂建設工業（宮坂寿文



寄贈した車いすを前に感謝状を手にする有川副社長（左）

社長・本社帯広市）は地域貢献活動の一環として22日、釧路市に車いす3台を寄贈した。同社からの寄贈は9年連続で、贈呈された車いすは釧路市立高等看護学院に配置され、看護学生が授業の中で車いすの操作を体験するために活用される。

この日は釧路市役所の市長応接室で、宮坂建設工業の有川進副社長から蝦名大也市長に目録が手渡され、市からは福祉の充実に貢献したとして感謝状が贈られた。

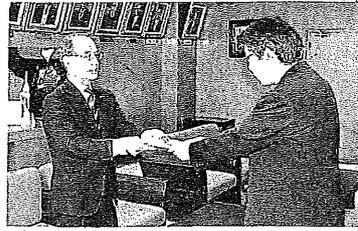
（伊東義晃）

車いす3台を
釧路市に寄贈

宮坂建設工業

【釧路】宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は22日、釧路市に車いす3台を寄贈した。写真。市役所で有川進副社長が蝦名大也市長に目録を手渡し、感謝状を受け取った。

廃品回収のリサイクルポイントなどを活用し2008年から続けている取り組み。小山内誠常務、船戸進社長室長、森川博行釧路支店長と共に市役



所を訪れた有川副社長は「来年で10年目を迎える。わずか3台ずつだが、続けることが大事だと思う」と述べた。

釧路市は、今回の3台を市立高等看護学院に配置する予定だ。

2016.4.26 北海道通信

車いす3台を寄贈

宮坂建設工業が釧路市に

（株）【釧路発】宮坂建設工業（帯広、宮坂寿文社長）

は二十五日、釧路市に車いす三台を寄贈した。有川進



副社長、船戸進社長室長、小山内誠常務、森川博行支店長が市役所を訪問して蝦名大也市長に目録を手渡し、有効活用を望んだ。同社は廃棄物回収業者との間におけるリサイクルポイント制度を活用し、貯まったポイントで車いすを購入して本社のある帯広市、支店のある札幌市と釧路市に寄贈している。活動はことしで九年目となり、

今回も三市に贈ることとした。

この日、市役所を訪れた有川副社長らは蝦名市長に目録を手渡し有効活用を求めた。市からは同社に感謝状が贈られ、蝦名市長は「市の福祉に理解を示し、継続して車いすを寄贈いただき大変ありがたい」と毎年の協力にあらためて謝意を示した。